

2025年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏名
教育学部	教授	新實 広記
最終学歴	学位	専門分野
愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻修士課程	学術	幼児の造形・図画工作・美術科教育、造形制作

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

「オンリーワンを、一人に、ひとつ。」をコンセプトに、学生一人ひとりがプロジェクトに挑戦できる教育。

【目標】

学生一人一人が成長できるように、挑戦できる環境や、学生が様々な人と出会える機会を積極的につくっていく。また、学生一人ひとりの興味や関心を大切に、学生が成長を実感できるように、大学での学びと教育現場や地域での実践的な学びを効果的に構成し、学生の実践力を育てていくことを目標とする。

そのためには、学生が主体的かつ実践的に学べる教育プログラムの整備に努力する。愛知東邦大学の学生が地域に信頼される学生になるよう、「真に信頼して事を任せうる人格の育成」を目指し教育活動を行う。

【方針】

小学校教諭・保育者（幼稚園教諭及び保育士）養成課程において、学生が質の高い教育、保育を行うために、養成段階で苦手意識を克服し、興味関心のある分野に対してさらなる研究を深められるようサポートをする。また、卒業後も自らの課題に気がつき、改善に努められるような、教育・保育実践力を自ら育てていくことができる人材を育成する。

【計画（方法）】

- ・授業で学んだ内容を実際に幼児や児童に実践して、自らの成長と改善点を体験的に実感できるように、地域と連携した教育活動を行う。
- ・多様な分野のゲストスピーカーの活用や、様々な子どもに関する施設での研修会を積極的に導入して、学内外において学生が様々な社会の現状や課題にリアルに気がつき、多様な人との出会いができる機会を設け広い視野で実践的な学びが得られるようにする。

○担当科目（前期・後期）

（前期）

サービス・ラーニング実習Ⅰ、基礎演習Ⅰ、図画工作科教育法、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅲ、保育内容（造形表現）

（後期）

サービス・ラーニング実習Ⅱ、基礎演習Ⅱ、図画工作、専門演習Ⅱ、専門演習Ⅳ、卒業研究、幼児と造形表現

○教育方法の実践

基礎演習では、子どもに関する様々な分野で活躍するゲストスピーカーを招聘して、社会における子どもの課題や援助などの現状をリアルに学ぶ機会をつくった。絵本専門店の店主に絵本の魅力について講演をしていただいたり、大学近隣のうりんこ劇団と連携して観劇会を行い、学生が豊かな表現力をリアルに体験する機会をつくることができた。専門演習、サービス・ラーニングの授業では、平和が丘保育園、近隣の幼稚園、小学校などの教育現場と連携して、学生の日頃の研究成果を実践して確認し、実践的な学びの機会を提供することができた。地域の子どもを対象とした、造形ワークショップの実施や観光バスでの愛知県児童総合センター、東山動物園への集団研修会など、地域と連携しながら実施することができた。今年も、座学での学びと、学外での学びを織り交ぜながら、地域と連携し実践的な学びができるように工夫することができた。

○作成した教科書・教材

- ・新實広記、柿原聖治、白井克尚、山本かほる、堀健治、虎岩朋加
「サービス・ラーニングハンドブック 第11版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2026(令和8)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、白井克尚、山本かほる、堀健治、虎岩朋加
「サービス・ラーニングハンドブック 第10版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2025(令和7)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、白井克尚、山本かほる、堀健治、虎岩朋加
「サービス・ラーニングハンドブック 第9版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2024(令和6)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、白井克尚、山本かほる、堀健治、虎岩朋加
「サービス・ラーニングハンドブック 第8版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2023(令和5)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、白井克尚、山本かほる、堀健治、虎岩朋加
「サービス・ラーニングハンドブック 第7版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2022(令和4)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、矢内淑子、白井克尚、水野順子、梶浦恭子
「サービス・ラーニングハンドブック 第6版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2021(令和3)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、伊藤龍仁、白井克尚、今津孝次郎
「サービス・ラーニングハンドブック 第5版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2020(令和2)年3月
- ・新實広記、柿原聖治、伊藤龍仁、白井克尚、伊藤数馬、白井克尚、今津孝次郎
「サービス・ラーニングハンドブック 第4版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2019(平成31)年3月
- ・新實広記、西崎有多子、柿原聖治、伊藤龍仁、白井克尚、中島弘道、伊藤数馬、白井克尚、今津孝次郎「サービス・ラーニングハンドブック 第4版」発行 愛知東邦大学教育学部 2018(平成30)年3月
- ・新實広記、西崎有多子、柿原聖治、伊藤龍仁、白井克尚、中島弘道、伊藤数馬、白井克尚、今津孝次郎「サービス・ラーニングハンドブック 第3版」発行 愛知東邦大学教育学部 2017(平成29)年3月

- ・新實広記、西崎有多子、柿原聖治、伊藤龍仁、白井克尚、中島弘道、伊藤数馬、白井克尚、今津孝次郎「サービス・ラーニングハンドブック 第2版」発行 愛知東邦大学教育学部 2016(平成28)年3月
- ・新實広記、西崎有多子、柿原聖治、伊藤龍仁、白井克尚、今津孝次郎「サービス・ラーニングハンドブック 第1版」発行 愛知東邦大学 教育学部 2015(平成27)年3月

○自己評価

基礎演習では、子どもに関する専門分野で活躍する方から学生が直に学べる機会を増やし、実際に子どもたちと触れ合える機会を増やした。専門演習、サービス・ラーニングの授業では、地域の幼稚園、保育園、小学校と連携して、学生が体験的に学べる環境づくりに力を入れることができた。さらに、図画工作、造形の授業では、模擬授業の成果を試す造形ワークショップを行ったり、現場教員のゲストスピーカを招聘し、具体的な指導実践例を学ぶ機会をつくった。苦手意識のある学生が、苦手意識を克服できたことが授業後の学生レポートや、授業時間外に制作に取り組む態度から知ることができた。保育・教育現場での実践力を身につけられるように、授業を工夫することができた。

II 研究活動

○研究課題

- ・保育者、幼稚園・小学校教諭における子どもの造形遊びと図画工作の指導法（教材・題材）研究
- ・美術空間の創造（社会におけるアートの役割の考察）

○目標・計画

【目標】

アートの起源や歴史、アートが社会に与えた影響、人間とアートの関わりなどを振り返りながら、現代における美術教育の意義、社会におけるアートの役割と可能性を実践的に研究する。

【計画】

美術教育で養われる「想像力」と「創造力」は、人が人として生きていく上でとても大切なものであることを伝えるために、教材の研究と題材をまとめ、幼・保・小・中の教育現場へ授業プログラムとして提供できるように論文の執筆や指導実践にも取り組む。

また、教育、保育現場の教員と連携をとり、様々な研修会に参加して、現場の課題を知り、現場の課題解決につながるような教材や題材の研究を行う。

また、継続した活動として、生活圏内に美術館がない山間部の子どもたちや授業時間にゆとりがなく美術館に行く事ができない子どもたちのために、校舎や空き教室を利用した学校美術館の実践研究を教育現場教員と連携して行う。

「美術空間の創造」というテーマで、「芸術や美術」が果たして人間にとって生活の中でどのような役割があるのかを根源的に捉える研究を継続して進めていきたいと考えている。

○2018年4月から2026年3月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

- ・小松英彦 富永昌二 西田真也 新實広記 他『質感科学ハンドブック』共著 東京大学出版会

第5章文化の中の質感（芸術・工芸・歴史）5-4節 ガラス pp288-295

2025(令和7年)1月15日

- 樋口一成 新實広記 他『小学校図画工作の基礎 造形的な見方や考え方を働かせる学び』共著 萌文書林 第3章 版画 4.版を用いた表現④—スチレン版画 pp76-77 第5章デザイン・映像メディア表現 12.モダンテクニックとその活用 pp128-129 13. モダンテクニックを活用した紙芝居づくり pp130-131 第6章 18モザイクで表す pp186-187 2020(令和2年)1月
- 新野貴則 福岡知子 新實広記 他『図画工作科教育法 明日の小学校教諭を目指して 子供の資質・能力を育む』共著 萌文書林 第4章 図画工作科の実践事例 14. 中学年 立体に表す活動② pp158-161 図画工作科で用いる材料や技法 4.木で表す（木材の加工法と用具） pp236-237 8.版で表す pp241 10.様々な接着剤、接着テープの性質 pp244-pp245 2019(令和元年)8月
- 『教員と保育士の養成における「サービス・ラーニング」の実践研究』共著第5章 幼稚園・小学校におけるサービス・ラーニング（新實広記）唯学書房 2019(平成31年)2月
- 樋口一成 新實広記 他『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』共著 萌文書林 第3章 幼児の造形教育の教材—材料や技法の基礎理解「版画①」版の種類や用具の使い方 pp.68-69 第4章 幼児造形教育への実践—大学での実技体験や教育現場での実践例「コラージュ」 pp.130-131、「ゴム版をつくろう」 pp.156-157、「木を切る・打つことからの展開」 pp.166-167、「共同での制作—ものづくり交流の教材実践」 pp.200-201 2018(平成30年)11月
- 大橋功 松岡宏明 新實広記 他『美術教育概論（新訂版）』共著 日本文教出版 第Ⅱ部 第7章 幼児造形表現指導の計画と実践 pp84-89 2018(平成30年)10月

(学術論文)

なし

(学会発表)

- パネリスト：新實広記、山本富章、阿部多偽、モデレーター：天野一夫 シンポジウム「表現としての豊田」 主催：豊田市文化振興課 2022(令和4年)年12月17日(土)14:00-16:00
- 講演 「豊田市民芸館蔵のガラス工芸」2022年7月14:00~16:00
豊田市民芸の森 旧本多静雄亭/ 豊田・愛知
- パネリスト：新實広記、稲垣誠、水谷誠孝 モデレーター：山極裕史 「aacaサロン まちとのインターフェイス・人とのインターフェイス」 建築美術工芸協会 2020(令和2年)年12月18日(金)17:00-18:30
- 新實広記、水谷誠孝 平成30年度全国保育士養成セミナー 中部フ□ロック独自企画 ワークショップ□「さまざまな素材を写して遊ぶ版画」
一般社団法人全国保育士養成協議会主催 2018(平成30年)9月16日

(特許)

なし

(その他)

<報告書>

- 「てのことは—あそび、つくる、育ちの日々—」ものづくり教育会議 vol.10 2025(令和7年)7月
- 「てのことは—あそび、つくる、育ちの日々—」ものづくり教育会議 vol.9 2024(令和6年)7月
- 「てのことは—あそび、つくる、育ちの日々—」ものづくり教育会議 vol.8 2023(令和5年)7月
- 「てのことは—あそび、つくる、育ちの日々—」ものづくり教育会議 vol.7 2022(令和4年)7月

- ・「てのことはーあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.6 2021(令和3)年7月
- ・「おてら meets フェスティバル アール・ブリュット展ギャラリートーク」全美協造形教育フォーラム 2019 報告 大学美術教育研究 全国大学造形美術教育教員養成協議会 第19号 2021(令和3)年3月
- ・「てのことはーあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.5 2020(令和2)年7月
- ・「てのことはーあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.4 2019(平成31)年7月
- ・「てのことはーあそび、つくる、育ちの日々」ものづくり教育会議 vol.3 2018(平成29)年7月

<主要作品発表>

- ・新實広記 「三洲足助寿づ家界限芸術祭 2025」2025年12月 寿づ家/足助・愛知
- ・新實広記 「センソリウム」特別展 御寺泉湧寺 2025年11月 泉湧寺/京都
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2025年9月 長崎歴史文化博物館/長崎
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2025年6月 八戸市美術館/青森
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2025年4月 松坂屋美術館/名古屋
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2024年7月 麻布台ヒルズギャラリー/麻布台・東京
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2024年7月 MOA美術館 /熱海・静岡
- ・新實広記 「現代日本のガラスアート」2024年7月 市立小樽美術館/小樽・北海道
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2024年3月 佐川美術館 /守山・滋賀
- ・新實広記 「POKÉMON X KOGEI Playful Encounters of Pokémon and Japanese Craft」2023年7月 JAPAN HOUSE/Los Angeles Ovation Hollywood・USA
- ・新實広記 「Vessel」個展 2023年11月 GALERIE hu/名古屋
- ・新實広記 「POKÉMON X KOGEI Playful Encounters of Pokémon and Japanese Craft」2023年7月 JAPAN HOUSE/Los Angeles Ovation Hollywood・USA
- ・新實広記 「ポケモン×工芸 美と技の大発見」2023年3月 国立工芸館 /金沢・石川
- ・新實広記 「国際ガラス年 2022 ガラス展」2022年12月 東京大学安田講堂/本郷・東京
- ・新實広記 「After Prize」2022年12月 豊田市美術館ギャラリー/愛知・豊田
- ・新實広記 「豊田市民芸館コレクション展 特別展示」2022年7月
豊田市民芸の森 旧本多静雄亭/豊田・愛知
- ・新實広記 「itoten」グループ展 2022年3月 横浜赤れんが倉庫館1号館/横浜・神奈川
- ・新實広記 「芸術の隣人たちー豊田気鋭のアーティスト展ー」2022年2月
豊田市民ギャラリー/愛知・豊田
- ・新實広記 「**揺籃の時間**」2021年6月
Cassina ixc. DELL' ARTE Art Gallery/青山・東京
- ・新實広記 「Vessels」個展 2021年2月 白要堂 /愛知・豊田・足助
- ・新實広記 「itoten」グループ展 2020年11月
京都文化博物館別館ホール/京都・中京区
- ・新實広記 「Vessel」コミッションワーク 屋内彫刻 2020年5月
HOTEL OREIN 静岡/葵区
- ・新實広記 「itoten」グループ展 2019年11月
横浜赤れんが倉庫館1号館/横浜・神奈川
- ・新實広記 「次代を担うとよたのアーティストたち展」グループ展 2019年8月

- ・新實広記 「Vessel」コミッションワーク 野外彫刻 2019年1月
PARK FRONT 香椎照葉 /東区・福岡
- ・新實広記 「itoten」グループ展 2018年10月代官山ヒルサイドテラス/代官山・東京
- ・新實広記 「第7回 現代ガラス展 in 山陽小野田」土屋良雄審査員賞 2018年7月
山口県立萩美術館 / 山口
- ・新實広記 「VESSEL-光のうつわ-」個展 2018年7月
豊田市民芸の森 日本多静雄亭/ 豊田・愛知
- ・新實広記 「光の図形」個展 2018年4月 masayoshi suzuki gallery / 岡崎・愛知

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況（学内外）

なし

○所属学会

ものづくり教育会議
日本美術教育学会
大学美術教育学会
日本保育学会
全国大学造形美術教育教員養成協議会
日本建築美術工芸協会

○自己評価

研究においては、これまでの研究成果を活かして、愛知県私立幼稚連盟の教員や、弥富市立保育士に研修会を行い、具体的な実践例を伝えることができた。その中で、教員、保育士の具体的な課題も明らかになったため、それらを改善できるような教材開発や、授業づくりを検討していきたい。また、芸術が人の心にどのように働きかけるのかという問題についても、公共施設のパブリックアートや美術館での作品展示や作品鑑賞を実際に実施し、検討することができた。今後は、以上のことを技法書や論文にまとめていきたい。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

【目標】

委員会や部会、WGにおいて配属された業務を的確に迅速に行って円滑な運営に努めることはもとより、問題解決のための最善の方法を教職員と共に考え、学生の声も聞きながら課題を改善していきたい。また、本学の魅力を引き出せるように新たな可能性を常に考え、イノベーションを試みていきたい。

【計画】

学生委員会委員長として、学生生活がより良くなるようにキャンパスの環境を整え、学生が多様な挑戦ができるようにサポートしていきたい。また、学生会の運営や部活、クラブ、サークルの活性化を促すような工夫も学生と共に仕掛けていきたい。そして、活気あるキャンパスづくりを他の委員会とも連携して行なっていくことを計画する。

学部では、教育学部の魅力を発信できるように、特色ある教育プログラムの創出や、大学内外と

の連携を積極的に行いながら、学生の満足度と入学者が魅力的に感じるカリキュラムの考察と運営を行う。

○学内委員等

学長補佐、幼小教職課程・保育士養成部会、学生委員会（委員長）、強化指定クラブの運営方法等に関するWG、中期経営計画WG

○自己評価

学長補佐として、課外活動の改善に取り組み、強化指定クラブの運営方法等に関するWGリーダーに任命され、課外活動ガイドラインを作成することができた。また、第4期中期計画（案）作成WGのリーダーに任命され、2030年度に向けた教育、研究、地域連携の原案をWGメンバーとまとめることができた。学生委員会では、委員長として学生生活をより良くするために、委員会メンバーと意見を出し合い、新たな仕組みづくりを行うことができた。特に、強化指定クラブや学生会、学生マナーなどに関して課題解決に取り組むことができた。学生会が企画する大学祭や卒業記念パーティーの運営もサポートし、今年度も学生会組織の成長を促しながら安全に行うことができた。

学生委員会が担当となる範囲は、他の委員会とも重なる部分が多くあるため、情報共有、意見交換を大切にして、他の委員会とも連携して様々な課題解決を今後も継続していきたい。

IV 社会貢献

○目標・計画

【目標】

自らの専門である芸術分野を生かして、教育現場や社会における多様な課題に対して積極的に取り組み、地域に貢献できるように勤めたい。

【計画】

地域の教育活動に貢献するために、学生と共に造形分野におけるイベントを計画、実践する。また、現場教員、保育者の抱える教育現場における課題を研修会などを通して共有し、課題解決に積極的に取り組む。

また、地域との連携を深めることで、愛知東邦大学が社会や地域から信頼され、頼られる存在となるように努める。

○学会活動等

- ・全国大学造形美術教育教員養成協議会役員
- ・ものづくり教育会議研究会理事

○地域連携・社会貢献等

- ・弥富市保育士研修会 講師 2025年 12月
- ・愛知県私立幼稚園連盟2年目教員研修会 造形表現 講師 2025年 7月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2025 vol.6 「造形ワークショップ」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2025年 7月
- ・他大学連携造形ワークショップ ことことキャラバン 2024 in 愛知東邦大学
会場：愛知東邦大学 LC ホール 協力：至学館大学、愛知学泉大学 2024年 12月
- ・造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.5 「おしゃれなぼうしとおしゃれなふくをつくろう！」

会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 12 月

- ・ TOHO アートキャラバン 2024 vol.4 「大きな大きな絵を描こう！」
- ・ 令和 6 年度名古屋市保育士現任者研修 講師 2024 年 8 月
- ・ 愛知県私立幼稚園連盟 2 年目教員研修会 造形表現 講師 2024 年 9 月
- ・ 令和 6 年度名古屋市保育士現任者研修 講師 2024 年 11 月
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 8 月
- ・ TOHO アートキャラバン 2024 vol.3 「夏祭り造形屋台で遊ぼう！」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 8 月
- ・ 造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.2 「ゆめのまちづくり」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 8 月
- ・ 造形ワークショップ企画 TOHO アートキャラバン 2024 vol.1 「造形ワークショップ」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 2024 年 7 月
- ・ 「ことごとキャラバン 2023 in 愛知東邦大学」
会場：愛知東邦大学 LC ホール 協力：至学館大学学生、豊橋創造大学 2024 年 1 月
- ・ 「ことごとキャラバン」 in 愛知東邦大学 造形ワークショップ
2024(令和 6)年 1 月 20 日 13:00~15:00 協力：至学館大学学生、豊橋創造大学 2024 年 1 月

愛知東邦大学、至学館大学、豊橋創造短期大学との連携にて実施

- ・ 「ことごとキャラバン」 in おかざき世界子ども美術博物館 造形ワークショップ
2023(令和 5)年 11 月 25 日 13:00~15:30
愛知東邦大学、名古屋学芸大学との連携にて実施
- ・ 「津島市立高台寺小学校学校美術館プロジェクト」
作品展示・鑑賞教室・アーティストトーク
講師 2023(令和 5)年 11 月 17 日 津島市立高台寺小学校学
- ・ 愛知県私立幼稚園連盟 2 年目教員研修会 講師 2023(令和 5)年 8 月 26 日
- ・ 講演会企画 ものづくり教育会議 「海賊船の活動と理念」
講師：NPO 法人海賊船 理事長 田中 徹 氏 2023 年 6 月 24 日 14:00~14:50

○自己評価

今年度も大学周辺の地域の子どもたちに対して、造形ワークショップの企画を学生と共に行うことができた。また、愛知県私立幼稚園連盟、名古屋市保育士現任者研修の研修会では、日頃の研究成果を伝え、子どもの造形活動の意義や現場教員の課題解決に貢献することができた。ものづくり教育会議においては、「てのことはーあそび、つくる、育ちの日々」を執筆して、現場の先生や養成校の教員に実践例を紹介することができた。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

配属された仕事はもとより、積極的に研究活動、大学運営に関わり、自らのスキルを増やして、学生、教職員から、真に信頼して事を任せられる人材になれる様に努めたい。

VI 総括

教育活動においては、地域で子どもに関する分野で活躍する人物をゲストスピーカーにお迎えして、子どもに関する多様な課題を学生が知るきっかけをつくることができた。また、サービス・ラ

ーニングや造形ワークショップを企画して、学生がリアルな学びができるように授業内容を工夫することができた。

また、研究活動では、教育現場に訪れ教員や保育者と触れ合いながら、研修会などを積極的に行うことができた。今後も、現場教員や保育者の課題と向き合いながら、研修会や学会などで情報を共有して、さまざまな課題解決の方法を探っていききたい。

大学運営に関する委員会では、委員会メンバー、WGメンバーの教職員からの助けを得ながら迅速かつ的確に業務を行うことができた。学長補佐としては、第4期中期計画（案）作成、課外活動ガイドラインの作成において、WGメンバーの多くの力に助けをいただきながら、リーダーとしてまとめあげることができた。学生委員会委員長としては、今年度も学生のマナー向上、学生の目線になり、学生生活がより良くなるようにさまざまな課題の解決とその方法を委員会メンバーや他の委員会と議論し実行することができた。今後も学生にとって魅力的なキャンパスになるように学生会試行部とも連携しながら、学生目線で課題解決、企画などを継続して行なっていききたい。

今後も、共に働く教職員に対して「感謝」の気持ちを大切にして、学生のより良い教育環境の整備と大学教育全体の発展へとつなげていくことを目標に努力していききたい。

以 上